

ロンドン日本人学校

ロンドン日本人学校は、ロンドン西部のアクトン地区にあります。ロンドンは、金融、工業、商業、芸術などで世界をリードしてきた大都市です。歴史ある古い建物と新しくモダンな建物が融合し、日々、進化を続けています。しかし、大都市でありながら、ハイドパークやリージェントパークなどの大きな公園が数多く見られるのも特徴です。公園や家庭ではイングリッシュガーデンが多く見られ、花や緑を大切にしていることが分かります。また、イギリスに住む人々は優しい人が多く、電車やバスで席を譲ることはもちろん、階段でベビーカーを運んでくれたり、ドアを開けてくれたりするなど優しさあふれる行動に感動しました。

ロンドン日本人学校は、1900年に建設された歴史ある校舎に、児童生徒合わせて約350名が学校生活を送っています。学校のシンボルは、校庭に生えている大きな菩提樹です。児童生徒の転出入が多いので、出会いと別れも多く、別れ際にはさみしく切ない気持ちになることが多々あります。ただその分、誰に対しても優しく接する思いが育ちます。児童生徒の交流も盛んで、小中合同のレクリエーション大会や小学生を縦割りに編成したグループで遊ぶフレンドリー活動、運動会、文化祭などにおいて様々な交流が行われています。

英会話の授業は、全学年週3回行われます。5段階の習熟度別で、現地の先生によるオールイングリッシュの授業です。また、英語検定も盛んで、小学6年生で準2級や2級を取得する児童も多いです。ロンドン日本人学校の特色ある教育活動として現地校交流があります。セントヴィンセンツ校、ジャーマン校、フレンチ校などロンドンにある現地校と年に2回交流をします。1回目の交流を終えると、児童生徒はもっと英語を勉強してコミュニケーションをとれるようになりたいという思いをもち、2回目の交流までに英語の勉強に励む姿が見られます。

このように、ロンドンで異国の文化に触れ、直向に努力する優しい子どもたちと出会うことができました。この出会いをこれからも大切にしていきたいと思えます。

